

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代医療史		選択	1	1.2	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏	C302	yasuhiro_yamamoto		水曜日 9:00~12:00	
授業の目的・概要	現代医療の歴史を学び、医療がどのように進歩し、その過程でどのような問題が生じたかを知る。そして、よりよい未来の医療をつくるために何が必要か理解し、実践できる能力を身につける。授業は Teams を使用した同時双方向遠隔授業で行う。併せて基礎演習で学習したレポートの書き方を実践する。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション 授業中に質問するため返答すること。 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	教科書を指定しないので、講義をしっかりと聞き疑問点は講義の中で質問すること。各回の授業で何を学ぶか整理することと、8回の授業を通して、科目として何を学んだかを意識して学習すること。				
教科書	指定しない。				
参考書	指定しない。講義中に参考図書を紹介する。				
外部教材	使用する予定はない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	医療とは何か説明できる。			HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)	
②	科学とは何か説明できる。			HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)	
③	倫理とは何か説明できる。			HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)	
④	医療の進歩の原動力が何であったのか説明できる。			HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、医療とは何か	講義 (同時双方向型授業)	学習方法について説明する。医学と医療の違いについて復習する。		3.5
2	農耕の開始は人類を幸福にしたのか？ －人類と病気の戦いの始まり－	講義 (同時双方向型授業)	農耕の開始で生活が安定したが、それにより人類は病気と闘うことになった経緯を復習する。		3.5
3	中世の医療 －真実とは何か－	講義 (同時双方向型授業)	なぜ人類はガレノスの著書が無批判に受け入れ、その結果何が起きたのか、それを打破できたのはなぜか復習する。		3.5
4	医療から医学へ －病気とは何か－	講義 (同時双方向型授業)	どのような思考方法の登場によって医学が誕生したのか復習する。医療と医学の違いを再度復習する。		3.5
5	実験医学のはじまり 感染症に対する人類の逆襲 －科学的思考法とは何か－	講義 (同時双方向型授業)	科学的思考法とはどのような思考法であるのか復習する。実験することの意義を復習する。		3.5
6	麻酔の発明 －あなたにとって価値あるものとは？－	講義 (同時双方向型授業)	医療の進歩に目覚ましい貢献をした麻酔の発明。その背景に何があったのか復習する。医療における倫理について考える。		3.5
7	現代医療の光と影 －そうまでして神になりたいのか－	講義 (同時双方向型授業)	現代のテクノロジーの進歩は人類に何をもたらす可能性があるのか復習する。		3.5
8	まとめ 現代医療の光と影について歴史から何を学ぶか確認する。レポート作成。	講義 (同時双方向型授業)	第1回から第7回の講義をまとめ、より良い未来の医療を作るためには現代医療に何が必要か考える。		3.5
試	レポート				

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	医療、医学、科学、倫理をキーワードとして、未来により良い医療を作るには何が必要かレポートを作成する。 レポートは基礎演習 I で学んだ方法に従って作成する。採点基準の詳細は授業中に説明するが、 <u>基礎演習 I で学んだ方法により作成することを最重要視する。</u>				レポートを返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床医として 30 年以上の経験を有する。						
実践的授業の内容	実践的医療現場において重要な医療知識や技術がどのように開発されたのかを講義する。その陰でどのような問題が生じ、それをどのように克服してきたのか説明し、同じ過ちを起こさないために我々は何をするべきか考察する。						
そ の 他	Teams を用いた同時双方向型授業を行う。通信が途絶えた場合は stream で録画した講義を視聴すること。新型コロナウイルス感染症の今後の情勢によっては授業内容・シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。						